TMK「」N/TSK「」Nシリーズ　施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。
施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

⚠ 警告

禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
禁止	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等 強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実に行なってください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
必ず守る	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」 に従い電気工事士資格者が行なってください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
必ず守る	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を 実施してください。

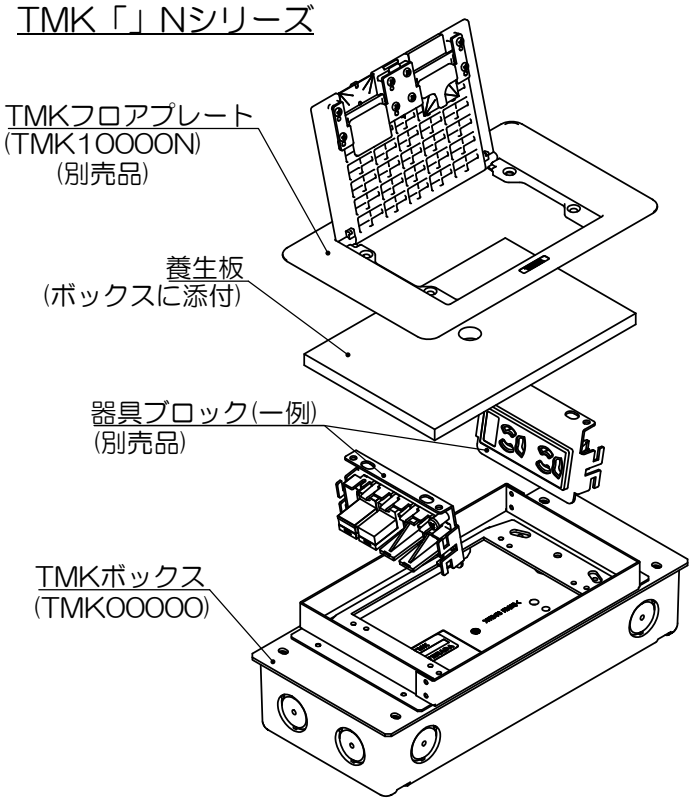
⚠ 注意

禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
禁止	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままに しないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
禁止	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、 製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
禁止	◆床暖房が施されている床に施工する場合はボックス 内の結露に十分ご注意いただき、熱源からの距離を 確保してボックス内温度が-10～+40℃を超えない ようご使用ください。 ⇒ 漏電・感電・火災の原因となります。
必ず守る	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
必ず守る	◆各取付ネジは確実に固定してください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。 （インパクトドライバーの使用不可）

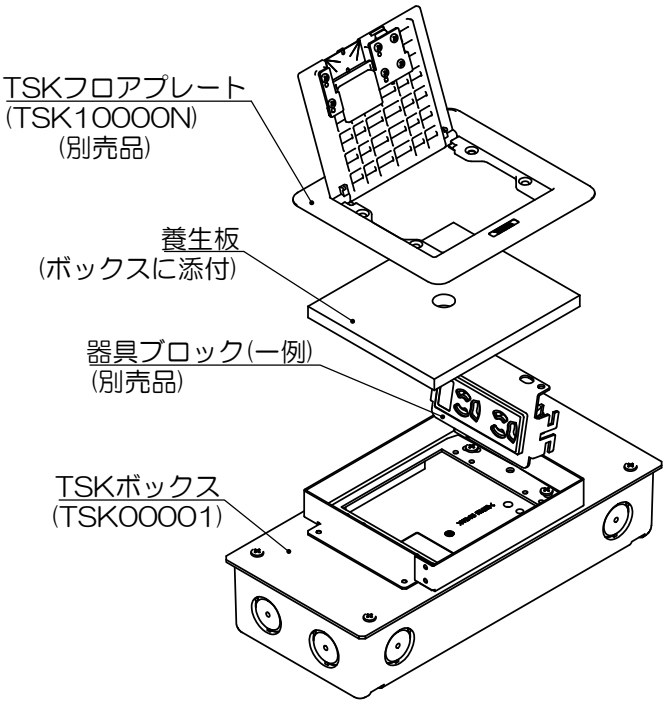
◆部品構成と名称

◆注意◆
・スライドボタンは、ドライバー等で強く押さないでください。
破損・機能不良の原因となります。
・取付用ネジは、定期的に増し締めを行ってください。

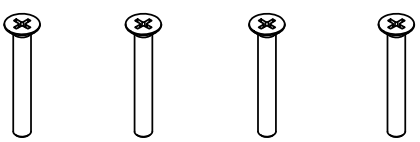
TMK「」Nシリーズ



TSK「」Nシリーズ



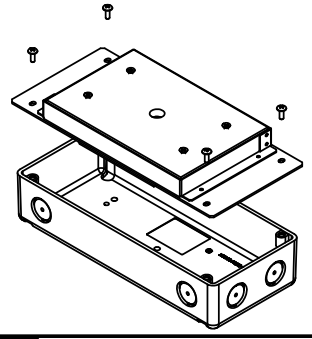
添付品
M4×35 4本 サラネジ



施 工 方 法

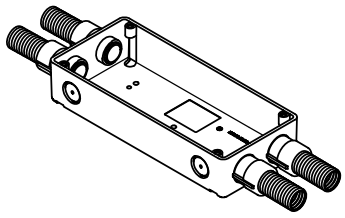
1 ボックスの分解

ボックスカバーのバインドネジ(M4×4本)を外し、ボックスカバーを外してください。
※外したネジは再度使用する為紛失しない様にしてください。



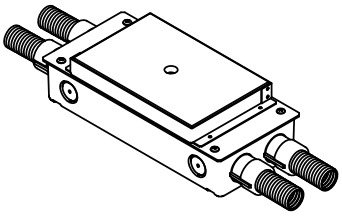
2 電線管の接続

電線管コネクタ・電線管をボックスに接続固定してください。ノックアウトの開口は電線の引き込みを行う箇所にのみ行ってください。ノックアウトは全てφ27.5(呼び22)です。
※アンカー用穴を使用し床面へ確実にアンカー止めを行ってください。



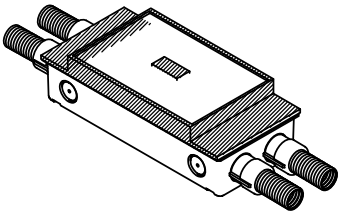
3 ボックスの再組立

外したバインドネジ(M4×4本)にてボックスにボックスカバーを確実に固定し、元の状態にしてください。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)



4 ボックスの養生

コンクリート流し込みに備えて、中央カバーと養生板上面を養生テープ等で確実に養生してください。コンクリートの流し込みは、養生板よりも少し被るまで流し込んでください。



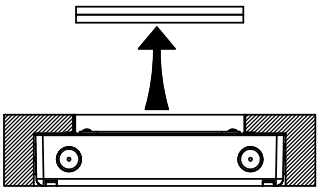
5 床仕上材の開口寸法

コンクリート凝固後、ハツリ出し、養生板を取り除いた後床仕上材を貼り、施工該当部を開口してください。

・床仕上材開口寸法

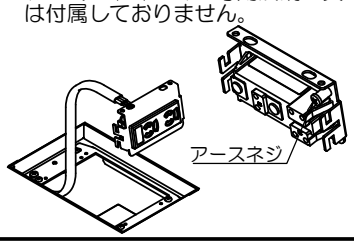
TMK $126^{\pm 2}$×$187^{\pm 3}$

TSK $120^{\pm 2}$×$136^{\pm 2}$



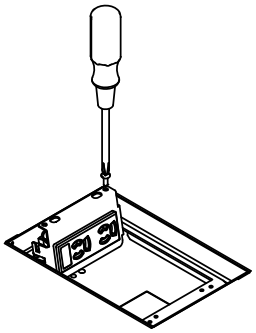
6 器具ブロックの結線

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続してください。配線方法については各器具の配線指示に従ってください。強電系器具ブロックにはアースネジを設けてあります。必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。
※情報用モジュラジャック(CAT.5E/6/6A)の専用成端工具は付属しておりません。



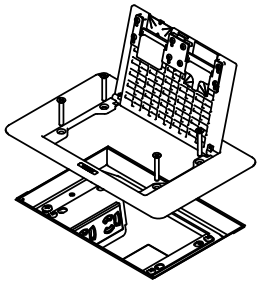
7 器具ブロックの固定

各器具ブロックに添付のバインドネジ(M4×2本)にてベース板へ確実に固定してください。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)



8 プレートの固定

フロアプレートに添付されているサラネジ(M4×4本)にてベース板に確実に固定してください。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)

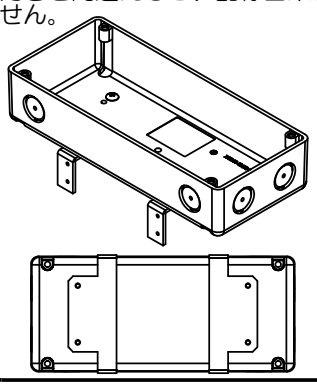


※TSKシリーズはフタを開けた時、右側に器具ブロックが見える向きに取付けてください。

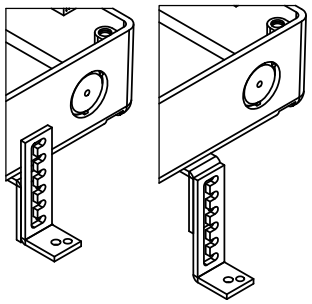
9 別売品オプションの施工方法(1)

◆アップサポート◆

ボックス底部にサポートガイド2ヶを、添付のトラスネジ4本にて取り付けてください。
※取付向きにご注意ください。向きを間違えると、配線出来ません。



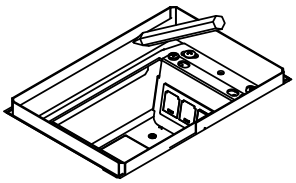
側面よりサポート4ヶを添付のナベネジ8本にて取り付けてください。この際、コンクリート打込み深さを考慮し、4段階の取付位置の中から選んでください。



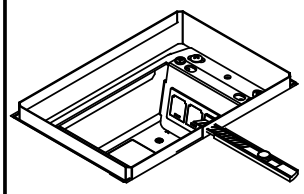
10 別売品オプションの施工方法(2)

◆化粧枠◆

側面のコンクリート地肌露出部を覆う場合に使用します。

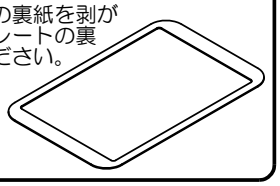


フロアプレートを取り付ける前に化粧枠を上から差し、床仕上材の仕上げ面より3mm～10mm低いガイド溝の位置に目印を付けて、溝に沿ってカッターナイフ等で切断して下さい。
切断後、フロアプレートを取り付けてください。



◆ゴムパッキン◆

フロアプレートの裏面に貼り、床仕上材との間で簡易防水をはかります。
ゴムパッキンの裏紙を剥がし、フロアプレートの裏面に貼ってください。



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361